

- 【試合方法】 ① 試合時間は、試合開始から1時間20分を過ぎたら新しいイニングに入らない事とする。ただし決勝は30分延長した時間制限とする。雨または日没の場合、4回終了にて成立。不成立の場合は再試合。

	五	六	七	
	0	0	←	ここで鳴りました ・先攻0点なら先攻負け試合終了
	1		←	ここで鳴りました ・後攻が勝っていますが次回表に入ります

	五	六	七	
	0	1	←	ここで鳴りました ・この回が最終回となり後攻逆転したらさよなら勝ち成立
	0		←	ここで鳴りました ・後攻逆転したら次回表に入ります ・0点なら試合終了、1点ならサドンデス

※時間の区切りはスリーアウトの瞬間から次のイニングに入っています

- ② 試合は7回までとする。同点の場合はタイブレーク方式を行う。タイブレーク方式は最大2イニングまでで、勝敗が決しない場合は抽選によって決定。ただし決勝は勝敗が決するまで、タイブレーク方式を行う。
《タイブレーク方式》継続打順で無死満塁の状態で行う。走者は前回の最終打者を一塁に、二塁、三塁走者は順次前の打者とする。
- ③ 4回以降7点差にてコールドゲームとする。
※決勝戦もコールドゲームを適用する
また、20点以上差が出た場合は、選手の健康管理を考慮してコールドゲームとする。
※全試合に適用
- ④ 投手の投球回数は1日7イニングとする。ただし、タイブレーク方式には適用しない。
- ⑤ 選手は1時間前に集合し、監督はメンバー表を速やかに提出のこと。
- ⑥ 試合中は、バッター・ランナー・コチャーボックスは必ずヘルメット着用のこと。
捕手は防護用ヘルメット、マスク（スロートガード付）、ファールカップを着用すること。
また、六義公園運動場において、A面・B面双方試合実施の際は、A面左翼手・B面右翼手もヘルメット着用、攻守交代時の外野手によるキャッチボール等守備練習を禁止する。
- ⑦ 選手の背番号は0～27番までとし主将は10番とする。ただし中学の部、学童の部で複数出場するチームの選手はこの限りでない。
監督は30番、コーチは28番と29番とし、それ以外は認めない。
- ⑧ 試合上の抗議権は、監督と当事者の1名とする。
- ⑨ ヘンチ内は各チームで登録してある監督・コーチ・責任者（6名）・選手に限る。
なお、指導者のユニフォーム着用は監督及びコーチの3名以内に限り、その他の責任者等はチームの帽子を着用する事。
- ⑩ 試合中、選手の健康管理を考慮して担当審判員、または大会本部の判断で給水タイムをとする場合がある。この場合、給水に要する時間は試合時間に含めない。

- 【出場失格】 ① 開会式に無断で不参加の場合。
② チーム編成に不正行為があった場合。
③ 試合時間に遅れた場合。

- 【注意事項】 ① 開会式と閉会式当日は、自転車の乗り入れは禁止する。
② 駐車は連盟駐車場許可証を提示した車のみとし、六義公園運動場の公園側出入口、ならびに管理事務所側出入口近辺での乗降を禁止とする。
③ ゴミ、空き缶等は各チームが責任をもって持ち帰ることとし、応援父母の皆様にも徹底すること。
④ グラウンド内、ならびに六義公園運動場の公園側出入口、管理事務所側出入口近辺はすべて禁煙とする。
⑤ 試合以外で会場内でのバットの使用は禁止、素振りも事故防止のため禁止とする。
⑥ 会場内での練習は禁止。ただし次の試合のチームは可。
⑦ 試合後のグラウンド整備は、試合が終わった両チームが行うこと。
※ライン引きは審判部が担当
⑧ 六義公園運動場において、9時以前の選手集合を禁止とする。
⑨ 攻守交代後の投球練習時において、控え選手が捕手を行う場合、ヘルメットとマスクを必ず着用する。
⑩ 第一試合開始前のシートノックは、各チーム5分以内に行うこと。
※シートノック時にノッカーの周囲にいる選手はヘルメットを着用すること
※第二試合以降は、原則として試合開始前のシートノックは行わない
⑪ 試合開始後の選手追加がある場合は、メンバー表に追加選手名を記載、その旨を審判員に報告・提出し承諾を得ること。
⑫ 各チーム応援旗はグラウンド外側へ掲示すること。
⑬ 来賓、連盟役員、審判部・審判当番以外の方の大会本部への不必要な立入を禁止する。
⑭ すべてのチームにおいて選手の追加登録は認めない。

平成28年

第36回文京区少年軟式野球 春季サヨナラ大会

【期日】

3月 6日(日)・12日(土)・13日(日)
3月20日(日)・21日(月)



☆主催／文京区少年軟式野球連盟

☆後援／文京区

東京駒込ライオンズクラブ
東京新聞・東京中日スポーツ
ナガセケンコー株式会社
株式会社シミズオクト